

ユニアデックス株式会社 田内 雄二



JNSA会員の皆様、はじめまして。ユニアデックス株式会社の田内 雄二（たうち ゆうじ）と申します。この度は日本ユニシス株式会社の尾花さんよりご紹介にあずかり、自己紹介をさせていただきます。

私が社会に出て最初に勤めたのは、とある警備会社でした。そこで警備員として従事しビルの巡回や監視を行っていました。4年ほど経った頃、当時何の技術も持たない自分の将来に不安を覚え、ITの世界に入ろうと思い、大阪でシステム開発の小さな会社に転職しました。それからは10年以上、システム開発ばかりを続けましたが、セキュリティに関しては無知に等しく、3年前にユニアデックスに入ってこの部署で働くまでこんな仕事があることも知りませんでした。しかし今思えば結局セキュリティの世界に戻ってきていて、これも運命なのかもしれません。

現在、マネージドサービスセンターに所属しており、基盤システムの構築と運用、お客様のセキュリティ監視を担当しています。上司とはよく今のSOCをどうやって発展させていくか語り合うことがあり、また若輩でありながら新しい商材の企画などにも参加させてくれるので、とても恵まれた環境に居ると思っています。

2年前に社内のプライベートSOC運用の立ち上げに参画し、まだSOC立ち上げの知識が無い中どうすればいいかわからない頃、日本ユニシスの尾花さんよりJNSAのISOG-Jを紹介して頂き、それからJNSAに関わることになりました。ISOG-Jに参加されている方々の話は非常に勉強になりますが、ついていくのがやっとなので、まだまだ精進が足りないと痛感しています。皆さんのレベルが高いので私が提供できる情報は少ないのですが、これからもっと経験を積んで同じレベルで話が出来ようになりたいと思っています。

ちなみに私は大阪に家があり、家族も大阪に住んでいます。ちょくちょく帰っているのですが、子供がまだ幼稚園にも入っていない頃は、「たまに泊まりに来るおじさん」と認識していたようです。今ではちゃんと「お父ちゃん」と呼んでくれますが、でもやっぱり子供は可愛いですね。将来は大阪に戻って子供を愛でながらセキュリティの仕事に携わりたいと考えていますが、そのためにも今ここで覚えなれないといけないことはたくさんあります。

JNSAの皆さん、こんな若輩者ですがこれからもご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

会員紹介（当コーナーでは、JNSAで活躍されている会員の方に、リレー方式で自己紹介をしていただきます。）

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 富士榮 尚寛



JNSA会員の皆様、はじめまして。アイデンティティ管理WGで活動させていただいております、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社の富士榮 尚寛（ふじえ なおひろ）と申します。この度は日本アイ・ビー・エム株式会社の板倉様よりご紹介いただきました。

まず、簡単に私のこれまでの経歴とセキュリティとの係りについてお話しさせていただきます。私は幼少時代を中近東で過ごしてきたということもあり、学生時代は外国語（英語、アラビア語）を専攻、エンジニアとは程遠い世界で生活をしてきました。しかしその後、縁がありプログラマとして分散トランザクション管理パッケージの通信モジュールの開発を担当、それをきっかけに、ネットワークやインフラ、アプリケーション基盤に係る業務を幅広く経験させていただく機会を得ることが出来ました。その中でディレクトリサービスの設計～構築を担当したことがセキュリティ、そしてアイデンティティ管理への最初のきっかけとなりました。

当時はアプリケーションが個別にIDを管理し、認証や認可を行うのが当たり前の時代でしたので、異動や退職などと連動してIDや権限のコントロールを行うID管理システムには純粋に面白さと将来性を感じた記憶があります。

そんな中、2000年代中盤頃の内部統制ブームにのりJNSAでもアイデンティティ管理WGが立ち上がったことを伺い、知見を広げることを目的に参加させていただき、クラウドやグローバル化など企業が直面している環境の変化に対してID基盤はどうあるべきか?という議論を通じ、「クラウド環境におけるアイデンティティ管理ガイドライン」の執筆に関与できたことは貴重な経験となっています。

現在は関西をメイン拠点として認証/ID管理の専任部隊としてコンサルティング～導入に係る業務を担当させていただいておりますが、やはりビジネスのグローバル化や働き方の多様化などによりクラウドの利用が加速しており、アイデンティティ管理の領域においてもクラウドとの連携が最大の検討ポイントになってきています。また、近年はID基盤自体をクラウドベースで提供するIDaaS (Identity as a Service) の活用にも注目が集まり、実際に導入も進んできており、今後の主流になっていくと予想されています。

当WGにおいても継続的にクラウドを念頭に置いたアイデンティティ管理のあるべき姿や導入時の留意点などの情報を発信していきたいと考えておりますので、皆様今後ともよろしくお願いたします。